

第6学年3組 国語科学習指導案

単元名：わたしは随筆家～6年生の自分を見つめよう～

「随筆を書こう」

男子15名 女子14名 計29名

指導者 東 真由美

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第5学年及び第6学年、「B書くこと」の指導事項「ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。」「ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」の内容を受けて設定したものである。本単元では、学習指導要領の「B書くこと」の言語活動例(2)「イ 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をついたり、物語や随筆などを書いたりすること。」を基に、自分のものの見方や考え方を深め、見つめ直しながら随筆を書く言語活動を位置付ける。

児童はこれまでに、観察記録文、手紙、報告文、紹介文、ポスター、物語、詩、俳句などの様々な形式の文章や詩歌を書く学習を行っているが、随筆を書くことは初めての学習である。随筆は、身近に起こったことや、見たこと聞いたこと、経験したことなどを基に、感想や感慨、意見などをまとめた形式の文章である。本単元では、随筆を通して自分の体験を振り返り、特に心に残ったことの中から題材を選ぶ力や、エピソードとなる出来事を整理する力を身に付けることをねらいとしている。また、出来事(事実)と感想、意見などを区別した上で、自分の伝えたいことを表現する力を身に付けさせることもねらいとしている。

第6学年の児童は、思春期に差しかかり、自分の在り方や他者との関係に関心をもち始める時期である。随筆を書くことは、自分の内面と向き合い、自己を見つめ直す機会にもなる。随筆に書きまとめるという活動を通して、自分のものの見方や考え方を深めることができると思う。

- 児童は、第5学年には、「資料を生かして考えたことを書こう」の単元で、複数の資料から情報を読み取り、読み取った情報を活用して、事実と感想とを区別しながら学校生活をより良くするための文章(ポスター)を書き、校内掲示を行った。教師が用意した複数の資料の中から、自分の考えに説得力をもたせるために必要な資料を選び、その資料の情報を活用して文章を書いた。この学習を通して、自分の考えに説得力をもたせるためには、引用した資料とそこから分かる事実を関連付けることが大切であることにも気付くことができた。しかし、目的に応じて必要となる情報を関連付けながら、自分の考えを明確に書くことにはまだ課題が見られる。また、児童自らが目的に応じて書く事柄を収集する学習については不十分である。

本学級の児童は、今年度の全国学力学習状況調査において、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら、事実と感想、意見などを区別して書く問題(国語B³三)の解答状況によると、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする力がまだ十分とは言えない。

○課題を発見・解決する力

随筆のおもしろさや随筆を書くことよさに気づき、児童自らが随筆を書くことに興味をもつことができるようにしたい。そのためには、児童が興味のもちそうな日常の出来事を題材にした随筆を複数読ませ、それぞれの作品のよさやおもしろさ、文章構成などを見付けさせる。そして、身近に起こった出来事を題材とし、他の人にも分かるように描写し、感想や意見とともに自分にとっての意味などを表現したものが随筆の特徴であることに気付かせる。そして、随筆を書くことを通して、最高学年となった今の自分のものの見方や考え方、生き方などを深め、見つめ直すことができることの意義を伝える。随筆との出会いの中で、日常的に何気なく見聞きし体験した出来事を、随筆に書きたいという意欲を高め、児童にとって意味のある学習内容になるようにしたい。また、児童が、随筆に親しむことで、様々な筆者のものの見方や考え方や文章表現の工夫などを知り、主体的に自分の学習に生かすことができるように、随筆の本を集め、自由に読むことができる環境を整えておく。

○深く考える力

随筆を書く活動は、出来事と感想、意見とを関連付けながら自分のものの見方や考え方を導き出す、創造的思考力が必要になる。本単元で育成したい思考の力は、出来事と感想、意見とを関連付ける力や、自分のものの見方や考え方を区別して表現する力である。

自分の体験を振り返り、随筆に書く事柄を集める際には、思考ツールの「イメージマップ」を用いる。イメージマップには、出来事やそれに対する感想や意見、自分のものの見方や考え方などを、出来事を通して思いつくままに自由に自分の言葉で書き込ませる。そして、イメージマップを参考にしながら、随筆に書きたい事柄を整理して関連付けるために「ピラミッドチャート」を用いる。その際、ピラミッドチャートの下段には出来事、中段には出来事に対する感想や意見、上段には自分のものの見方や考え方を書き入れる。ピラミッドチャートに出来事と感想や意見とを関連付けさせる中で、自分のものの見方や考え方にも気付かせていく。

また、下書きを推敲するときには「PMIシート」を用い、P（作品のよさや工夫されていること）、M（修正をした方がよい点や分かりにくいこと）、I（おもしろいことやおかしいと思ったこと）を記入させる。推敲の視点について考えさせることで、書き手のものの見方や考え方を明確にする思考の場を工夫する。また、PMIシートを用いて評価を行うことで、論理的に考える場の工夫を行う。協働的に評価し合うことで、自分のものの見方や考え方を深めることの意義を実感させたい。

○自己を理解する力

課題の設定の段階において、随筆を書くことは、自分自身を見つめ、自分のものの見方や考え方が深まることに気付かせる。その後、学習の計画を児童と共に立て、単元終了時のゴールの見通しをもたせる。ゴールには随筆を書くことを通してどのような力を付けたらよいか、評価基準を児童と共に作成する。児童との共有を図ることで、自分をモニタリングしながら学習に取り組ませたい。振り返りの段階では、作品を読み合い、友達のもの見方や考え方の違いに気付かせ、相互評価を行う。学びのモニタリングの時間では、作品や友達からの評価やノートなどを基に、単元の初めに立てたゴールの見通しの視点で、自らの学びや学び方を振り返る。そして、これまでの自分と比べて、もの見方や考え方が広がっていることに気付かせていきたい。

単元の目標及び内容について

- これまでの体験を振り返り、印象に残っている出来事を思い出し、自分らしさの表れた随筆を書こうとする。 【関心・意欲・態度】
- 最高学年になった6年生までの日々を振り返り、印象に残っている出来事を思い出し題材を集め、書く事柄を整理することができる。 【書くこと ア】
- 読み手に伝わるように体験した出来事の様子を詳しく書き、感想、意見との関係をおさえ、自分にとっての価値を考えながら、随筆を書くことができる。 【書くこと ウ】
- 比喩や会話文、文末の工夫などの表現の工夫に気付き、随筆の表現に用いることができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (ケ)】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
【単元を貫く言語活動】 自分のものの見方や考え方を深め、見つめ直すために随筆を書く。		
これまでの体験を振り返り、印象に残っている出来事を思い出し、自分らしさの表れた随筆を書こうとしている。	これまでの体験を振り返って題材を決め、体験した出来事を深く思い出したり今の自分の考えをまとめたりして書く事柄を集め、随筆に書く事柄を整理している。随筆という文種を意識して、事実と感想、意見などを区別するとともに、自分にとっての価値を考えながら、読み手に分かるように出来事について書いている。	比喩や会話文、文末の工夫などの表現の工夫に気付き、随筆の表現に用いている。

指導と評価の計画

全10時間

次	時	学習内容	評価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定(2) ○随筆の特徴を理解し、随筆を書きたいという意欲をもつ。 ・複数の随筆を読み、作品のよさやおもしろさ、文章構成に気付く。 ・出来事、感想や意見、作者のものの見方や考え方の視点で分析し、随筆の特徴を知る。	○			・随筆の特徴を理解し、随筆を書くことに関心をもち、これまでの体験を振り返っている。	行動観察 ノート
	2	○随筆のテーマについて考え、学習の見通しを立てる。 ・随筆のテーマについて考える。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けた力について考える。	○			・随筆を書くことに関心をもち、主体的に随筆のテーマや付けた力について考えている。	発言 ノート

次	時	学習内容	評 価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
二	3	情報の収集（１） ○随筆に書く事柄を集める。 ・イメージマップを用いて、経験や出来事、その時の感想、意見などを「イメージマップ」に書く。		○		・自分の体験を振り返って随筆に書く事柄を集めている。	ノート 行動観察
		○日々の体験を基に、随筆に書く事柄を取材メモに集める。					
	4	整理・分析（２） ○自分の選んだテーマをもとに、随筆に書く事柄を整理する。 ・随筆に書きたい事柄を「ピラミッドチャート」に整理する。【本時】		○		・出来事と感想、意見とを関連付けながら、随筆に書く事柄を整理している。	ワークシート 行動観察
	5	○文章全体の構成を考える。 ・「構成表」を用いて文章構成を考え、出来事と感想や意見とを関連付けて、自分の書きたい事柄を明確する。		○		・文章全体の構成を考え、自分の書きたい事柄を明確にしている。	ノート 行動観察
	6	まとめ・創造・表現（４） ○下書きを書く。 ・読み手に伝わるように出来事を詳しく書き、感想、意見とを関連付けて随筆を書く。		○		・事実と感想、意見などを区別しながら、自分のものの見方や考え方を書いている。	ワークシート 行動観察
	7	○下書きを推敲する。 ・作品を基に、書き手のものの見方や考え方をさらに明確にするためにどうしたらよいか「PMIシート」を基に分析し、推敲の視点を考える。 ・自分の作品を推敲する。		○		・比喩やユーモア、省略、倒置などの表現の工夫に気付き、表現工夫を取り入れながら推敲している。	発言 行動観察 ワークシート
	8	○下書きを清書する。 ・随筆を清書し、仕上げる。		○		・自分のものの見方や考え方が読み手に伝わるように清書している。	ワークシート
	9	振り返り（２） ○作品を交流し合う。 ・作品を読み合い、友達のもの見方や考え方の違いに気付き、作品を評価し合う。		○		・出来事と筆者のもの見方や考え方を関連付けながら作品を読んでいる。	ワークシート 発言
三	10	学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。	○			・自分のものの見方や考え方の変容や自らの学びや学び方を振り返っている。	発言 行動観察 ワークシート

随筆の並行読書

本時の学習

(1) 本時の目標

- 出来事と感想，意見とを関連付けながら，随筆に書く事柄を整理し，自分にとってのものの見方や考え方をとらえることができる。

(2) 本時の評価規準

- 随筆に取り上げる出来事と感想，意見とを関連付けながら整理して，自分にとってのものの見方や考え方を明らかにしている。

【書く能力】

(3) 本時の学習展開（4時間目／全10時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ 随筆に書く事柄を整理し，自分のものの見方や考え方について考えよう。 本時のゴールの見通し（評価基準） A：複数の出来事と感想，意見とを関連付けながら，自分のものの見方や考え方を分かりやすく表現している。 B：出来事と感想，意見とを関連付けながら，自分のものの見方や考え方を表現している。	◇随筆の特徴を想起し，出来事と感想，考えとを関連付けながら自分のものの見方や考え方を導き出すことを確認する。	
2 随筆に書く事柄を整理する。 ○どのようなテーマを随筆に書きたいですか。 学校生活 ・宿題 ・忘れ物 ・給食 ・運動会 ・休憩時間 ・係 友達 ・遊び ・けんか ・下校中 ・休憩時間 家族 ・兄弟 ・朝の出来事 ・ちょっとした一言 ・ペット ・嫌いな食べ物 ・おつかい ・手伝い ・うそ ○随筆に書きたい事柄を整理しましょう。 □思考の場の工夫 関連付ける 随筆に書きたい出来事をピラミッドチャートの下段に，出来事の感想や考えを中段に，上段には自分にとっての価値（ものの見方や考え方）記入しながら考えをまとめる。	◇イメージマップや取材メモを参考にしながら，日常生活の中での出来事を基に随筆の題材を選んでいくことを確認する。 ◇思考ツールの「ピラミッドチャート」に，出来事と感想，意見とを関連付けながら記入し，自分にとっての価値であるものの見方や考え方をまとめていくように指示する。 ◆書きたい事柄が整理できにくい児童には，教師のモデル文とピラミッドチャートを例に示しながら整理するように指示する。	☆出来事と感想，意見とを関連付けている。

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>3 全体で交流する。</p> <p>○随筆に書きたいことはどんなことですか。</p> <p>・兄弟げんかは、周りから見たらしようもない。</p> <p>・一年生の妹は、手がかかるけどかわいい。</p> <p>・ペットは、自分のことを分かってくれる大切な存在。</p> <p>・学校の帰り道は、人生の大切なことを学ぶ時間。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇随筆に書きたいテーマについてピラミットチャートを使って説明するように指示する。また、説明を聞いた児童は、詳しく聞きたいことやおもしろいことやアドバイスなどを伝えるように指示する。</p> <p>◇自分のものの見方や考え方を導き出すには、出来事と感想、意見とを関連付けることが大切であることに気付かせる。</p> <p>◇随筆に伝えたい自分のものの見方や考え方についてまとめるように指示する。</p>	<p>◎ 出来事と感想、意見とを関連付けながら整理して、自分にとってのものの見方や考え方について明らかにしている。〔書く能力〕(ワークシート・行動観察)</p>
<p>★めざす児童の姿 (ものの見方や考え方が表現できていればよい)</p> <p>私は飼い猫の鼻息について書きたいと思う。鼻息をするたびに、色々考えさせられることがあった。猫は何も考えていないと思うけど、<u>なんだか私の考えていることや気持ちを分かっているように感じる</u></p>		<p>◇次時は、文章全体の構成について考えることを確認する。</p>

(4) 板書計画

